

東日本大震災から、もう少しで1年が経とうとしています。町ではすっかり募金活動をする人の姿も見られなくなり、報道も震災を思い出のように語る番組が多くなりました。しかし、現在でも完全な復興への道のりは遠く、多くの方が助けを求めています。そこで、今一度あの震災で私たちが学んだことを考えてみましょう。あなたがこの震災をきっかけにしたこと、できること、していきたいこと、学んだことのいずれかについて200字以上で述べなさい。

東横線の車掌さん、アナウンスで「大変なことになってますが、ここが頑張りどころです。みんなで力を合わせて乗り切りましょう！」と。多分、マニュアル外だと思う。素敵だ(^)

亡くなった母が言っていた言葉を思い出す。「人は奪い合えば足りないが分け合うと余る。」被災地で実践されていた。この国の東北の方々を、日本を、誇りに思います。

昨日、韓国のツイッターで話題になった話。韓国駐在の日本人がタクシーに乗ってからお金を払おうとしたらあっさり拒否されたらしい。「日本人でしょう？日本に帰ったら、このタクシー代を寄付しなさい。」国籍とか政治とかは別にして、一般庶民の考え方はみんな同じ。

4時間の道のりを歩いて帰るときに、トイレのご利用どうぞ！と書いたスケッチブックを持って、自宅のお手洗いを開放していた女性がいた。日本って、やはり世界一、温かい国だよね。あれみた時は感動して泣けてきた。

涙が、堪えられなかった。ごめん。ここに書かせて。知人の話。宮古市の人。津波で自分だけ生き残って、旦那と2人の子供が行方不明。下の2歳の子の遺体を発見後、2日間抱いて過ごしたって。

韓国人の友達からさっききたメール。「世界唯一の核被爆国。大戦にも負けた。毎年台風がくる。地震だってくる。津波もくる。……小さい島国だけど、それでも立ち上がってきたのが日本なんじゃないの。頑張り超頑張り」ちなみに僕はいま泣いている。

千葉の友達から。避難所でおじいさんが「これからどうなるんだろう」と濡らしたとき、横に居た高校生ぐらいの男の子が「大丈夫、大人になったら僕らが絶対元に戻します」って背中をさすって言ってたらしい。

バイト中に地震があって、ほぼ満席の状態からお客さんに外に避難してもらいました。食い逃げ半端ないだろうな、と思っていたが、ほとんどのお客さんが戻ってきて会計してくれました。ほんの少しの戻れなかったお客さんは、今日わざわざ店に足を運んでくださいました。日本っていい国。

NHKの男性アナウンサーが被災状況や現況を淡々と読み上げる中、「ストレスで母乳が出なくなった母親が夜通しスーパーの開店待ちの列に並んでミルクが手に入った」と紹介後、絶句、沈黙が流れ、放送事故のように感じた。すぐに立ち直ったけど泣いているのがわかった。目頭が熱くなった。

停電すると、それを直す人がいて、断水すると、それを直す人がいて、原発で事故が起きると、それを直しに行く人がいる。勝手に復旧しているわけじゃない。俺らが室内でマダマダとか言っている間寒い中、死ぬ気で頑張ってくれている人がいる。

インドのカルカッタにて。いつもサダルストリートを歩いている物乞いのお婆ちゃんとチャイを飲んでると『日本はとても大変な状況なのを知っている。私も貧しく、子供もいて大変だけど、しばらくは日本人に喜捨を求めるのはやめる事にする。その分はあなたの国の為に使って欲しい』と言われて立ちすくんだ。

イスラエル人にヘブライ語で話し掛けられた。困っていたら知り合いのパレスチナ人が通訳しすぎり、通訳してくれた。「日本は大丈夫か？僕は深く祈るから」と言ってくれた。パレスチナ人とイスラエル人が握手をして笑顔に包まれた。涙が出た。

物が散乱しているスーパーで、落ちていたものを律儀に拾い、そして列に黙って並んでお金を払って買い物をする。運転再開した電車で混んでるのに妊婦に席を譲るお年寄り。この光景を見て外国人は絶句したようだ。本当だろう、この話。

家屋に取り残され、42時間ぶりに救出された高齢の男性の映像。「チリ津波も経験してきたから、だいじょうぶです。また、再建しましょう。」と笑顔で答えていた。私たちが、これから何をすることが大事。

震災発生わずか12分後から届き始めた、海外・国内からのメッセージ、エピソードを集めたwebサイト「pray for Japan.jp」より